

1 現行のビデオ会議システムについて

(1) 主な利用用途

- ・ 本庁において開催される会議、行事、説明会または研修会を地域庁舎等へ放映する。
- ・ 複数の拠点間において会議を行う。

(2) 利用方法

- ・ ビデオ会議システムの予約は、会議等を主管する所属（職員）が行う。予約は、職員用パソコンから行い、各所属のユーザIDにより使用日時と参加拠点を登録する。
- ・ 本庁のプレゼンテーションルームにおいて開催する会議の放映は、図3に示す固定式の専用端末を使用し配信する。受信側の拠点数は10～13か所であり、受信者は、会議室または執務室において職員用パソコンを利用する。
- ・ 本庁の講堂または会議室において開催する説明会及び研修会の放映は、図2に示す可搬型の専用端末（以下、「本庁フリー端末」という。）を使用する。受信者は、会議室または執務室において職員用パソコンを利用する。
- ・ 複数の拠点間の会議は、各拠点の会議室または執務室において、職員用パソコンまたは本庁フリー端末を利用する。
- ・ 本庁5階防災対策部の専用端末は、防災対策部が管理する映像音響機器と接続するためのものである。防災関連の映像と音声をビデオ会議システムに入力し各拠点へ配信、ビデオ会議システムの映像と音声を防災対策部へ提供するために用いる。

(3) システム構成図と設置場所

デバイス	設置場所	機器名称	備考
会議予約装置・多地点会議装置	津市内のデータセンター	VisualNexus Meeting Server	SD画質で同時40拠点の接続が可能
		DL60 Gen9 (HP製)	ハードウェア
ビデオ会議専用端末①	本庁舎内の任意の会議室	Group310 (Polycom製)	
ビデオ会議専用端末②	5階防災対策部	Group310 (Polycom製)	
ビデオ会議専用端末③	本庁プレゼンテーションルーム	HDX8000 (Polycom製)	
各PC端末	他庁舎など	VisualNexusEndpoint	40ライセンス

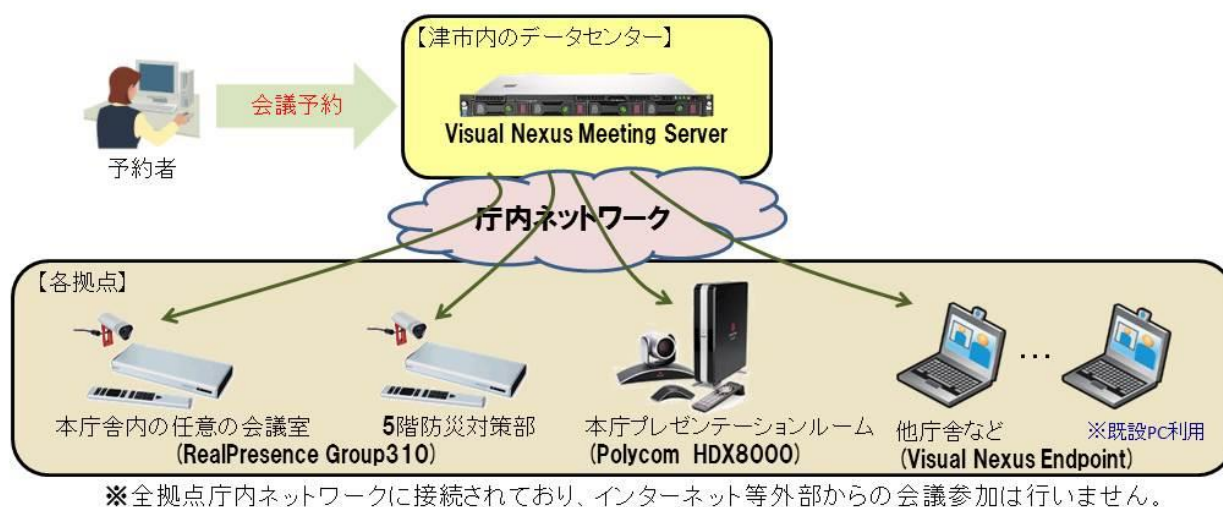


図 1 システム構成図

表1 システム使用機器

番号	メーカー	機器名
①	Polycom	Group310
②	ヒューレット・パッカート株式会社	DL60 Gen9
③	Polycom	HDX8000 Touch Control (PoE ハブを含む) Eagle Eye III
④	USB カメラ	Logicool HD Webcam C525
⑤	マイクスピーカー	YAMAHA YVC-300

表2 ビデオ会議の主な利用拠点と機器

拠点名	拠点分類	住所	機器の番号	回線速度 (下り)
データセンター		津市内	②	2Gbps
本庁及びプレゼンテーションルーム	本庁	津市広明町 13	①③④⑤	2Gbps
本庁 5F 防災対策部	本庁	津市広明町 13	①	2Gbps
桑名庁舎	総合庁舎	桑名市中央町 5-71	④⑤	1Gbps
四日市庁舎	総合庁舎	四日市市新正 4 丁目 21-5	④⑤	1Gbps
鈴鹿庁舎	総合庁舎	鈴鹿市西条 5 丁目 117	④⑤	1Gbps
津庁舎	総合庁舎	津市桜橋 3 丁目 446-34	④⑤	1Gbps
松阪庁舎	総合庁舎	松阪市高町 138	④⑤	1Gbps
伊勢庁舎	総合庁舎	伊勢市勢田町 628 番地 2	④⑤	1Gbps
志摩庁舎	総合庁舎	志摩市阿児町鶴方川向井 3098-9	④⑤	1Gbps
伊賀庁舎	総合庁舎	伊賀市四十九町 2802	④⑤	1Gbps
尾鷲庁舎	総合庁舎	尾鷲市坂場西町 1 番 1 号	④⑤	1Gbps
熊野庁舎	総合庁舎	熊野市井戸町 371	④⑤	1Gbps
東京事務所	単独地域	東京都千代田区平河町 2 丁目 6-3	④⑤	100Mbps
関西事務所	単独地域	大阪府大阪市北区梅田 1 丁目 11-4(大阪駅前第 4 ビル 8 階)	④⑤	100Mbps
四日市港管理組合	単独地域	四日市市霞 2 丁目 1 番 1 号	④⑤	100Mbps
児童相談センター	単独地域	津市一身田大古曾 694-1	④⑤	100Mbps
北勢児童相談所	単独地域	四日市市大字泊村 977-1	④⑤	100Mbps
鈴鹿児童相談所	総合庁舎	鈴鹿市西条 5-117	④⑤	1Gbps
南勢志摩児童相談所	総合庁舎	伊勢市勢田町 628-2	④⑤	1Gbps
伊賀児童相談所	総合庁舎	伊賀市四十九町 2802	④⑤	1Gbps
紀州児童相談所	総合庁舎	尾鷲市坂場西町 1-1	④⑤	1Gbps

※上表の回線速度は、令和 2 年度計画の庁内ネットワークの再構築により、大きく変わることが想定されるため、参考値とすること。

(4) 職員用パソコンについて

- 職員用パソコンの主な仕様は以下のとおり。
 - 外観 A4 ファイルサイズノートパソコン
 - CPU Intel Core i3-3120M (2.00GHz) 以上
 - RAM 4GB 以上

モニター ワイドTFTカラー液晶ディスプレイ（15.6インチ以上、WXGA以上）

OS Windows10 Pro 64bit版

- ・ 職員用パソコンのOSは、Windows10 Pro（64bit）である。
- ・ Windows10は、Semi Annual Channel(SAC)を採用している。原則として年1回更新し、令和2年2月時点のバージョンは1903である。

(5) 現行システムの課題

- ・ 直観的な操作が難しく、操作マニュアルが分かりにくいいため、情報システム課（システム管理者）または操作経験者による支援無しでは利用できない。
- ・ 各総合庁舎においても、各総合庁舎のビデオ会議担当者の支援無しでは利用が困難。
- ・ 解像度や画面レイアウトの設定や変更に関する要望が多く、また、音響エコーやハウリングが発生しやすいため、会議ごと、拠点ごとにリハーサルを実施し個別調整を行っている。そのため、緊急に開催する会議では利用できない。
- ・ 複数の拠点が同時に発言すると、音声品質が著しく低下する。
- ・ 前述のような状況であるため、ビデオ会議システムの利用率が伸びない。
- ・ 予約画面に、利用者の連絡先を入力する項目がないため、システム管理者はグループウェアの職員録やスケジュールを参照しながら職員を探すことがある。
- ・ 事後に、利用時間、拠点数、参加人数等の実績を測定する方法がない。

2 今後のビデオ会議システムについて

(1) ハードウェア

- ・ クラウドサービス型のシステムを導入予定である。クラウドサービス型のシステムを導入するためのネットワークやクライアント端末の条件を明示すること。
- ・ 表2の拠点の内、各総合庁舎及び東京事務所、関西事務所並びに児童相談センターについては、ディスプレイ及びカメラ並びにマイク・スピーカが一体となったビデオ会議専用機器の導入を予定している。
- ・ 表2の拠点の内、単独地域拠点及び児童相談所については、専用機器を導入しない予定である。専用機器の代わりに、職員パソコンのスペックと同等以上のカメラ付きパソコン及びマイク・スピーカの導入を予定している。そのため、クライアント端末として、専用機器以外に、パソコンと安価な周辺機器（市販のカメラやマイク・スピーカ等）の組み合わせでも対応できること。
- ・ 表2の拠点の内、本庁については県庁講堂（250名収容）等で大きな会場で開催される研修等でシステムが使用されるため、それを考慮した専用端末の導入を予定している。
- ・ 本庁プレゼンテーションルームについては、専用端末1台及びタッチコントローラ並びに専用カメラ2台の更新を予定している。
- ・ 本庁5Fの防災対策部については、専用端末1台の更新を予定している。

(2) ライセンス

- ・ 会議を主催可能なライセンスを15ライセンス以上準備すること。
- ・ 上記に加え、会議に参加可能なライセンスを5ライセンス以上準備すること。
- ・ ビデオ会議用の仮想会議室を4室以上準備すること。

(3) 動作環境

- ・ 回線速度の影響を受けにくいこと。
- ・ Windows10バージョンアップの影響を受けないこと。
- ・ MS Officeファイル、画像ファイル、動画ファイル等を参加者の画面に表示しながら、説明や議論ができること。
- ・ 複数の拠点が同時に発言しても、音声品質が極端に低下しないこと。

- ・ 会議中に会議時間の延長が容易にできること。

(4) 運用

- ・ 操作マニュアルについては、簡易版と詳細版の2種類を作成すること
- ・ 管理者画面等において、ユーザIDの登録、変更、削除が容易にできることが望ましい。
- ・ 予約管理が容易であることが望ましい。
- ・ 利用実績を容易に集計または確認できることが望ましい。
- ・ クライアント端末用ソフトウェアのインストール及びアップデート並びに設定が容易であること。

(5) 保守

- ・ バックアップが自動作成され、容易に復元できること。
- ・ 迅速な故障対応が可能であること。

(6) その他

- ・ 庁内ネットワークだけでなく、外部ネットワーク（インターネットや移動体通信網）との相互接続を可能とするなど、多様な働き方を実現する手段として、ビデオ会議システムを活用したい。
- ・ クラウドシステムから庁内ネットワークへの接続環境については、別途準備予定であるが、最適な回線等については検討中である。